

近畿地方建設局長

堀 泰晴



ごあいさつ

近畿地方では、現在、二十一世紀を担う重要なプロジェクトが本格的に動いています。関西国際空港、関西文化学術研究都市、明石海峡大橋をはじめとする多くのプロジェクトは近畿の活性化の原動力となるものと各方面から期待されています。また、国際化と緑の博覧会も明年四月の開催に向けて着々と準備が進められています。これらのプロジェクトやイベントを近畿の全体像の中に位置づけて、その機能を最大限に生かすよう、関連事業の整備を含めて、近畿の豊かな自然と風土との調和を図りつつ、後世に誇れる基盤整備として推進することが必要と思われれます。

これらのプロジェクトや関連事業の推進に当たっては、多くの方々の協力が必要であることは言うまでもありませんが、とりわけ日本土木工業協会をはじめとする建設業界の果たすべき役割は誠に大きいものがあります。

ところで、今日建設業界をとりまく環境は、一方ではわが国経済が内需を中心としてフォロワーの風が吹いていますが、他方では技能労働力の確保など、極めて厳しい面があります。魅力ある建設産業を目指してのイメージアップは産・官・学界あげて取組まなければならない最重要課題であります。

地域の皆様をはじめ関係者の方々の深いご理解とご協力により、「真に豊かな近畿」の実現を祈念してやみません。